

# 南海トラフ地震臨時情報とは

南海トラフ地震は、30年以内に70～80%の確立で発生し、江田島市内では最大震度6弱（マグニチュード8～9）の揺れを観測すると予測されています。南海トラフ地震が発生した場合は、気象庁から「南海トラフ地震臨時情報」が発表されますので、事前に対応方法を把握しておきましょう。

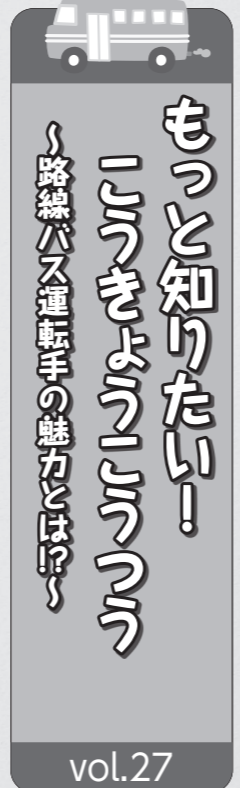
- 南海トラフ地震臨時情報とは!?  
南海トラフ沿いで地震発生の可能性が高まっていると評価された場合などに、気象庁から発表される情報です。
- 南海トラフ地震臨時情報は、どのように発表されるの!?  
気象庁から発表される内容は、次のとおり「南海トラフ地震臨時情報」の後に、「調査中」などのキーワードを付記した形で情報発表されます。

発表条件	南海トラフ地震臨時情報
■南海トラフ沿いで異常な現象が観測され、その現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合 ■観測された異常な現象の調査結果を発表する場合	南海トラフ地震臨時情報
■観測された異常な現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合	調査中
■南海トラフ沿いの想定震源域内のプレート境界において M8.0 以上の地震が発生したと評価した場合	巨大地震警戒
■南海トラフ地震の想定震源域内のプレート境界において M7.0 以上、M8.0 未満の地震が発生したと評価した場合 ■想定震源域のプレート境界以外や、想定震源域の海溝軸外側 50km 程度までの範囲で M7.0 以上の地震が発生したと評価した場合 ■ひずみ計等で有意な変化として捉えられる、短い期間にプレート境界の固着状態が明らかに変化しているような通常とは異なるゆっくりすべりが観測された場合	巨大地震注意
■巨大地震警戒、巨大地震注意のいずれにも当てはまらない現象と評価した場合	調査終了

●南海トラフ地震臨時情報が発表されたらどうすればいいの!?  
「南海トラフ地震臨時情報」が発表された場合は、個々の状況に応じて避難等の防災対応を準備・開始し、今後の情報に注意してください。また、政府や県・市からキーワード（巨大地震警戒、巨大地震注意または調査終了）に応じた防災対応が呼びかけられますので、次のとおり内容に応じた防災対応をとってください。

地震発生から最短2時間後	南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）	南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）	南海トラフ地震臨時情報（調査終了）
（最短）2時間程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日頃からの地震への備えの再確認に加え、地震が発生したらすぐに避難するための準備</li> <li>●地震発生後の避難では間に合わない可能性のある住民は<b>事前避難</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日頃からの地震への備えの再確認に加え、地震が発生したらすぐに避難するための準備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●大規模地震発生の可能性がなくなったわけではないことに留意しつつ、地震の発生に注意しながら通常の生活を行う。</li> </ul>
1週間（※）	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日頃からの地震への備えの再確認に加え、地震が発生したらすぐに避難するための準備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●大規模地震発生の可能性がなくなったわけではないことに留意しつつ、地震の発生に注意しながら通常の生活を行う。</li> </ul>	
2週間	<ul style="list-style-type: none"> <li>●大規模地震発生の可能性がなくなったわけではないことに留意しつつ、地震の発生に注意しながら通常の生活を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●大規模地震発生の可能性がなくなったわけではないことに留意しつつ、地震の発生に注意しながら通常の生活を行う。</li> </ul>	

出典：南海トラフ地震臨時情報が発表されたら！（内閣府） <https://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/rinji/index4.html>



閩 企画振興課 ☎0823-43-1630

市民の移動手段を確保するため、毎日運行している路線バス。今回は、運転手の仕事内容や魅力などを、江田島バス(株)のベテラン運転手、古田浩治さんに話を伺いました。

●運転手になったきっかけ？  
路線バスの運転手に小さい頃から憧れていたんです。人の役に立つ仕事がしたいと思い、働きながら2種免許を取得し、32歳の時にバスの運転手になることができました。

●仕事内容を教えてください。  
運行管理者として、運転手の教育やスケジュール管理、車両の確認に加え、路線・貸切バスの運転もしています。全てに携わる何でも屋です。

●魅力とは？  
お客さまから感謝の言葉をかけられる時が一番嬉しいですね。また、運転席から見える景色も最高です。沖美町のバス停「堂道」の近くの、海に月明かりが照らされた景色が特に好きです。猪には注意してくださいね。

●市民の方へ！  
恥ずかしいがり屋ですが、見かけた時はぜひ、話しかけてください。運



インタビューに応える古田さん ←江田島バス HP

転中以外は、全力で対応させていただきます。また、去年9月にあったイベントで、市広報大使（当時）で元STU48の矢野帆夏さんが所属していたユニット「MIKERI」のみならず、車両内にサインしてくれました。ほぼ毎日、どこかで走っていますので、路線バスに乗って確かめてみるのもきっと楽しいですよ。これからも市民の皆さまのお役に立てるよう、乗務員一同頑張っていきます。

今後、交通事業者の方へのインタビュー記事を通して、公共交通の魅力をお届けしていきます。



令和5年度の民泊受入再開に向けて、藤澤安良さんによる研修会を実施しました。

vol.94 閩 交流観光課 ☎0823-43-1632

## 3年ぶりの開催！ 藤澤安良さん研修会

（株）体験教育企画の藤澤さんは、体験プログラムの企画やインストラクターなどの養成に取り組みされており、江田島海生体験交流協議会も当初から指導してもらっています。

その藤澤さんが実施する3年ぶりの教育民泊研修会には多くの方が参加し、来年度の受け入れに向けて、民泊の意義や注意点を再確認しました。

「民泊中は生徒と常に一緒にいて、会話をします。生徒だけで行動させない」などのアドバイスが時に笑いを交えてありました。

さらに、SDGsに関するグループワークを次の流れで行いました。

- ①江田島市の抱える課題を挙げる。
- ②課題の中からテーマを決める。
- ③課題への対策や私たちにできることを考える。
- ④最後にSDGsの目標のうち、その取り組みがどの目標に該当するかを考える。

テーマは「イノシシ対策」・「民泊

家庭数の維持」・「人口減少」・「空き家空き地の増加」が挙げられ、活発に議論が交わされ、発表後に藤澤さんから講評をいただきました。

今回の研修を通して、しばらく顔を合わせていなかった方同士での交流を深めることができ、また、改めて民泊の意義を再確認することができました。

実施後のアンケートでは、「民泊するにあたり一つのテーマができた」、「藤澤さんの話がおもしろくためになった」などの意見もいただきました。

令和5年度の最初の受け入れは5月中旬。どんどん近づいてきています。今回の研修や今までの研修で学んだことを生かして、実りのある受け入れができるようがんばってまいります。

民泊家庭の活動に関心のある方は、お気軽に交流観光課までお問い合わせください。

